

社 会 資 本 総 合 整 備 計 画

良好な市街地形成による魅力あるまちづくり（第２期） 事後評価

令 和 ８ 年 ９ 月

群 馬 県 太 田 市

社会資本総合整備計画 事後評価書															
計画の名称	良好な市街地形成による魅力あるまちづくり(第2期)														
計画の期間	令和03年度 ～ 令和07年度 (5年間)												重点配分対象の該当		
交付対象	太田市														
計画の目標	土地区画整理事業の推進により、道路、公園等の公共施設の整備改善や宅地の利用増進を図るとともに、良好な住環境を形成し、魅力あるまちづくりを目標にします。														
全体事業費(百万円)	合計 (A+B+C+D)		5,448	A	5,448	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合C／ (A+B+C+D)		0	%

番号	計画の成果目標(定量的指標)			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値	中間目標値	最終目標値
		令和2年12月末		令和7年度末
1	地域住民が安心、安全に円滑に移動できる都市空間を創出し、快適に暮らせる住環境を形成することで居住人口を増加させる。 住民基本台帳をもとに居住人口を調査する 太田地区の居住人口を10,411人から10,500人に増加させる。宝泉地区の居住人口を26,873人から27,200人に増加させる。定量的指標の当初現況値及び最終目標値は2地区の合計値とする。			
		37284人	人	37700人
2	満足度下位項目(満足していない)に区分される市街地の整備(区画整理事業)における満足度を向上させる。 太田市の取り組みに対する満足度と重要度に関するアンケート問15「市街地の整備」事業地区の数値向上(太田地区、宝泉地区) 太田市の取り組みに対する満足度と重要度に関するアンケート問15「市街地の整備」太田地区の満足度のポイントを3.760から4.000に上昇させる。宝泉地区の満足度ポイントを3.648から4.000に上昇させる。定量的指標の当初現況値及び最終目標値は2地区の平均値とする。(参考)太田地区の総合満足度4.194 宝泉地区の総合満足度4.250			
		3704点	点	4000点
3	地域住民が安心、安全に円滑に移動できる都市空間の創設 歩行者の安心、安全な歩行空間を確保するため事業地区内の歩道整備率を44%から75%へ向上させる。 計画に基づく整備済み歩道延長／歩行者の安心、安全な歩行空間の確保に資する歩道の整備計画延長			
		44%	%	75%

備考等	個別施設計画を含む	－	国土強靱化を含む	－	定住自立圏を含む	－	連携中枢都市圏を含む	－	流域水循環計画を含む	－	地域再生計画を含む	－
太田市の取り組みに対する満足度と重要度に関するアンケートに係る定量的指標の当初現況値及び最終目標値には小数点以下の数値は入力できないため整数値とした。												

A 基幹事業

基幹事業（大）	番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	種別 1	種別 2	要素となる事業名 （事業箇所）	事業内容 （延長・面積等）	市区町村名／ 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
		一体的に実施することにより期待される効果																	
		備考																	
道路事業	A01-001	街路	一般	太田市	直接	太田市	区画	改築	太田駅周辺地区	土地区画整理事業	太田市	■	■	■	■	■	1,042		－
	A01-002	街路	一般	太田市	直接	太田市	区画	改築	宝泉南部地区	土地区画整理事業	太田市	■	■	■	■	■	147		－
											小計						1,189		
市街地整備事業	A13-003	市街地	一般	太田市	直接	太田市	－	－	太田駅周辺地区	土地区画整理事業	太田市	■	■	■	■	■	4,259		－
											小計						4,259		
											合計						5,448		

事後評価

○事後評価の実施体制、実施時期

事後評価の実施体制	事後評価の実施時期
太田市	令和8年9月
	公表の方法
	太田市ホームページにて公表

○事業効果の発現状況

定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況	・快適な住環境を形成することで、太田地区と宝泉地区の居住人口増加を目標としたが両地区とも達成に至らなかった。土地区画整理事業地内のみであれば、計画期間内に2地区合計で112件の居住用建物（集合住宅含む）の76条申請が提出されており、人口増加に寄与したと評価している。 ・市民満足度アンケートの数値（満足度）の増加を目標としていたが、目標値を超えることが出来ず、当初現況値よりも低い結果となった。令和4年度には当初現況値よりも高い3,750点（2地区平均値）を記録したが、アンケート対象者が無作為で抽出されることもあり、年度により数値の変動が大きい傾向にある。 ・計画期間中の目標として、本町新井線はL=259.4mのうちL=27.5mの歩道が整備済でL=102.2mを整備することとしていたが、結果として残りL=231.9mの歩道整備が完了した。宝泉南部2号線はL=262.8mのうちL=203.8mの歩道が整備済であったところ、残りL=59.0mの歩道整備を完了し、2路線とも100%の整備率となった。
定量的指標以外の交付対象事業の 効果の発現状況（必要に応じて記述）	・太田駅周辺地区について、計画期間内に都市計画道路の本町新井線を整備して供用開始したことから、災害時の避難経路の確保や公共交通の安全性や利便性向上、地域防災及び地域の国土強靱化に大きく寄与することが出来た。また、交通事故の減少や渋滞緩和、緊急車両の移動時間短縮も期待できる。 ・宝泉南部地区について、計画期間内に定量的指標として定めていなかった都市計画道路等の整備や河川橋梁などの整備も完了し、地区内の道水路概成が目前まで迫っている。また、都市計画道路沿いに以前より存在していた大型ショッピングモール等に加え、計画期間内にドラッグストア1件、コンビニエンスストア1件、飲食チェーン店2件が出店しており、魅力あるまちづくりが形として現れてきており、今後も地区内の大きな人口増加が見込まれる。

○特記事項（今後の方針等）

・全体的な人口減少の流れを変えることは難しいが、今後も引続き土地区画整理事業により、立地適正化計画に基づいて居住誘導区域の人口増加や市民満足度の向上を図るため、魅力あるまちづくりを継続してまいりたい。都市再生土地区画整理事業において人口の増加を定量的使用として使用する際には、ガイドラインに基づき適切な設定を行い、事業の効果を確認・分析しながら事業を推進してまいりたい。

・太田駅周辺地区においては、交通結節点である太田駅を中心とした範囲について研究と整備を進め、また現在の狭小な生活道路を幅員6.0m以上の道路で整備することにより、地区内の交通事故発生件数の減少を目指し安全性の向上を図り、密集している市街地を再整備することで災害に強いまちづくりを進めてまいりたい。

○目標値の達成状況			
番号	指標（略称）		
	目標値／実績値		目標値と実績値に差が出た要因
1	地区の居住人口の増加		
	最 終 目標値	37700人	土地区画整理事業を実施しているのは各地区の一部であるため、地区全体の人口を増加させるほどの効果は得られなかった。
	最 終 実績値	36788人	
2	市民満足度アンケートの数値向上		
	最 終 目標値	4000点	計画期間内において、2地区とも都市計画道路や河川の整備を中心としていたことから、通行規制や渋滞などによる不便感、生活道路の整備の遅れから事業の停滞感を感じさせてしまったことが要因と推測する。
	最 終 実績値	3491点	
3	歩道整備率の向上		
	最 終 目標値	75%	築造した道路用地について、難航している権利者達への折衝を真摯に重ねた結果、当初想定していたよりも広い範囲の用地を確保することが可能となり、想定範囲を大きく超えて整備することが出来た。
	最 終 実績値	100%	

計画の名称	良好な市街地形成による魅力あるまちづくり		
計画の期間	令和3年度 ～ 令和7年度（5ヵ年間）	交付対象	群馬県太田市

